

整備項目表（建築物）

名 称		所 在 地	
主 要 用 途		構 造 ・ 階 数	造 ・ 地上 階 地下 階
延 べ 床 面 積	㎡		

1 出入口

	目 標 と な る 指 針	図面及び各項目 の名称・番号等	設 計 内 容	判 定	留 意 事 項
				指 針	
建物出入口 の構造 （不特定か つ多数の者 が利用する 建物出入口 に限る。）	1 以上は内りの幅120 c m以上 その他は90 c m以上		(最小内りの幅) c m (最大内りの幅) c m		近接する出入口 を除き、全ての 出入口を適合さ せてください。
	内りの幅120 c m以上の戸の1 以上は、自 動開閉、その他は車椅子使用者が円滑に開 閉して通過できる構造		(開閉方式) (駆動方式)		
	透明な戸は、衝突防止措置を講ずる。		(講じた措置)		
	車椅子使用者の通過に支障となる段を設け ない。		(段の有無) ・ 有 ・ 無		
	靴の履き替え場所に手すり、椅子等の設置		・ 体を支えるための手すり ・ 椅子 ・ その他 ()		
	必要に応じて、屋根又はひさしを設置		(屋根又はひさし) ・ 有 ・ 無		
駐車場出入 口の構造 （不特定か つ多数の者 が利用する 駐車場出入 口に限る。）	内りの幅90 c m以上		(最小内りの幅) c m		近接する出入口 を除き、全ての 出入口を適合さ せてください。
	戸は、自動開閉又は車椅子使用者が円滑に 開閉して通過できる構造		(開閉方式) (駆動方式)		
	透明な戸は、衝突防止措置を講ずる。		(講じた措置)		
	車椅子使用者の通過に支障となる段を設け ない。		(段の有無) ・ 有 ・ 無		
	靴の履き替え場所に手すり、椅子等の設置		・ 体を支えるための手すり ・ 椅子 ・ その他 ()		
	必要に応じて、屋根又はひさしを設置		(屋根又はひさし) ・ 有 ・ 無		
建物内出入 口の構造 （従業員の みの利用す る建物内入 出口も含み ます。）	内りの幅90 c m以上		(最小内りの幅) c m		近接する同一の 室の出入口を除 き、全ての出入 口を適合させて ください。
	戸は、自動開閉又は車椅子使用者が円滑に 開閉して通過できる構造、かつ、開閉時に 戸が廊下に突出しない。		(開閉方式) (駆動方式)		
	透明な戸は、衝突防止措置を講ずる。		(講じた措置)		
	車椅子使用者の通過に支障となる段を設け ない。		(段の有無) ・ 有 ・ 無		
	靴の履き替え場所に手すり、椅子等の設置		・ 体を支えるための手すり ・ 椅子 ・ その他 ()		
近接する出 入口	内りの幅80 c m以上		(最小内りの幅) c m		

（注意） 1 用語の説明

- 「建物出入口」とは、建築物の直接地上へ通ずる主要な出入口をいいます。
- 「駐車場出入口」とは、建築物の駐車場へ通ずる主要な出入口をいいます。
- 「建物内出入口」とは、各室の出入口をいいます。